

当院で診療を受けられた患者さん・ご家族様へ
臨床研究へのご協力をお願い

当院では、以下の臨床研究を実施しています。この研究では、普段の診療で得られた情報を使用させていただくものです。この研究のために、新たに診察や検査などを行うことはありません。以下の情報を研究に用いられたいとお考えの患者さんまたはご家族の方は、遠慮なくお申し出ください。お申し出いただいた患者さんの情報は使用いたしません。また、研究への参加にご協力いただけない場合でも、患者さんに不利益が生じることは一切ありません。

病院前でのカフ上部吸引なし挿管チューブによる気管挿管に伴う呼吸器関連肺炎の
発症リスクの検討

1. 対象となる患者さん

2019年1月1日から2023年12月31日に、当院高度救命救急センターに心肺停止のために搬送され、蘇生して人工呼吸管理が7日間以上施行された患者

2. 研究責任者

奈良県立医科大学 救急医学教室 診療助教 鶴田 啓亮

3. 研究の目的と意義

心肺停止・致命的な状況で、緊急気管挿管と人工呼吸管理は必須な治療方法です。ただし、人工呼吸管理によって人工呼吸器関連肺炎と呼ばれる肺炎を併発する可能性があります。気管挿管時のチューブにカフ上部吸引と呼ばれる声門上の分泌物を吸引するデバイスがついていると発症のリスクが減ることが知られていますが、ドクターヘリやドクターカーでカフ上部吸引付きのチューブを挿入するのに時間がかかります。そのためドクターカーやドクターヘリではカフ上部吸引がないチューブを挿入してきました。ドクターヘリ・ドクターカーでカフ上吸引がないチューブで緊急気管挿管を施行した場合の人工呼吸器関連肺炎が、院内でカフ上部吸引があるチューブで緊急気管挿管した群と比べてリスクが高いかどうか研究します。

4. 研究の方法

5. に示す情報を対象の患者さんのカルテから収集し、蘇生に成功した心停止における人工呼吸器関連肺炎を起こした割合を算出します。

5. 使用する情報

診療情報：診断名・年齢・性別・既往歴、CT画像、カフ上吸引付き挿管チューブの使用の有無、来院後の抗生剤投与の有無とその種類、人工呼吸器関連肺炎の発症の有無、1か月後の生存の有無、人工呼吸器関連肺炎を起こした菌 VA-ECMO 使用の有無

6. 情報の管理責任者

奈良県立医科大学 救急医学教室 診療助教 鶴田 啓亮

7. 研究期間

研究機関長の実施許可日～2025年3月31日

8. 個人情報の取り扱い

対象となる患者さんの個人情報は厳重に管理し、利用する情報等からはお名前や住所等、個人を特定できる情報は削除し、研究番号に置き換えて使用します。また、研究成果を学会や学術誌等で公表する際も個人を特定する情報は公表しません。

9. お問い合わせ先

奈良県立医科大学附属 救急医学教室 診療助教 鶴田 啓亮

住所：奈良県橿原市四条町 840 番地

電話：0744-22-3051

e-mail：emer@naramed-u.ac.jp